

亀井一成の

ズーム
IN
ZOO

No.354

『のぞき』大好き動物



小指ほどの「のぞき穴」から「お隣りさんは何してはるかな…」。気になるのは動物だって同じなんです



ペンギンを格子ごしにのぞくヨーロッパカワウソ。「あっちも涼しそうだなあ」

お隣りが気になるのは人間ばかりではありません。ゴリラもトラも隣りの鳴声に逆毛を立て、匂いにはオシッコで応戦、トラは隣りあう壁へ、チュウとひっかけています。

コンクリートの壁には隣りへ移動できるよう、鉄の扉を設けていますが、ちよつとガタがあると大変。ガターン、ゴトーン。トラもライオンも、クマも終日前足で「ノック」を送るので、扉が光っています。突然ドドーン。強打のゴリラに、びつくりのお客さま。みなさん、経験ございませんか。

ボクは獣舎の計画時に、外では隣りあう壁に格子窓を設けるよう提案しました。特に猿類は「近所」を気にするので隣りが見えた方がストレス解消に役立つと考えたからです。

ただし小規模飼育舎を建てるほかなかったからのこと。猿舎で西端のチンパンジーが吠えればマントヒヒ、マンドリル、テナガザルへと東端まで、たちまち情報の流れ、キヤツ、キヤツ、キヤー。一斉に格子をよじのぼ

り、みな、それぞれの顔で大声をあげます。

「なんだ！なんだ！エサが来たぞ！」

とばかりなのです。

コンクリートで密封された飼育舎では前面の人間しか見えません。

鉄格子で仕切れば、両隣りが見え、ケンカもでき、生活が少しでも広がることでしよう。

「ヨシズでこちよ、こちよ」

それが、ケンカどころか助け合うのです。

カチーン。誰かが石を投げつけました。

ギヤツ、ギヤツ、ギヤー。

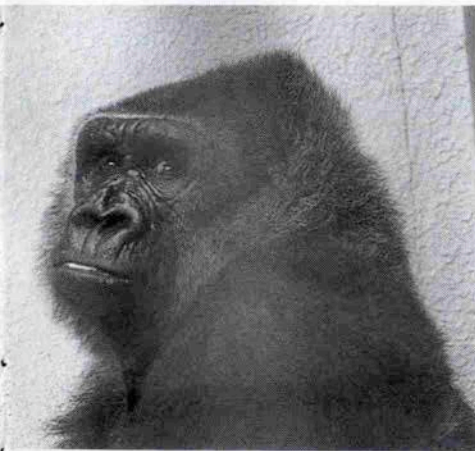
ガタ、ガタ、ガターン。

石を投げられたマントヒヒ一家を両隣りのチンパンジーとマンドリルが、石を投げた下手人をめがけ、吠え、鉄戸を蹴とばし、とびかかっているのです。

そんなことがあつての暑い日、日覆のヨシズ一本を手にしたチンパンジーが隣りのマントヒヒの子供と何やら遊んでいる様子。

鉄格子の間から手を出してケンカになつてはと、金網を重ね張りしていました。

なんと、手が出ないのでヨシズ一本を通して、こちよ、こちよ、こちよ、マントヒヒの子供をつついて遊んでいるではありませんか。直接体に触れられなくとも、長い



ゴリラの健太は『のぞき』の名人です



「はじめまして。よろしくね！」お隣りどうしのご挨拶。南アメリカ南部のキンカジュウ

ヨシズ一本で互いの心の内を通いあう仕ぐさをして、いる姿にボクは心が熱くなりました。

コンクリートに囲まれ、隣りも見えず、天井の空がやつと見える中では、何とも哀れだといえませんが、

のチェリーがビタリ顔をつけ、向こうからボクをのぞいていたのでありました。フウーと息を吹きつけると、チェリーもフウーと返してくれるのは大笑いでありました。いや、いや、『のぞく』のは飼育係にとっては重要なこと。大丈夫だとガターン、鉄戸を閉めたとき、『しまった！』。子連れのヒヨウの尾やライオンの尾を挟んでしまうことがよくあるのです。

イチ、ニイ、サン、三頭の子を確認して扉を閉めるとき、さつと反転、パネのようにとび出ることたびたび。事故防止のためドーンと鉄戸が閉まりきらないように小さな木片を挟んでおくことをよくやりました。

巨漢のゾウはガターン。閉めようとする人力に突然重たい鉄戸を鼻面で押し返してくる『悪ゾウ』にもよく泣かされました。

さりとて、急激に鉄戸を閉めたのでは、大切な鼻先や尾を挟んでは大変なのです。

ゾウの鉄戸のすき間を、そつとのぞくボクにシュー。猛烈な鼻イキに眼をやられ、たじたじになった若い頃が忘れられません。

人間も動物も大勢が隣りあい、隣りを知ること助けあう心が、自然に育つのだと、動物たちに改めて教えられた思いでありました。

【秘密の「のぞき穴」】

写真の通り、隣りのペンギンをのぞくヨーロッパカワウソは、好奇心が強いばかり、ひょっこり顔を出す習性があつて、人間に狙い撃ちされ、河川の汚染や環境の変化も重なり、ニホンカワウソはもう絶滅したと心配されています。

いや、『のぞきたい』のは動物ばかりではありません。外に出た動物を、そつと『のぞく穴』があるんです。

あくまでも安全対策のひとつ。鉄の扉にはチンパンジーやオランウータンの生態を知るため、小指位の穴を開けてあります。

カチーン。

誰だ、石を投げたのは！いたずらの下手人を見るにも重宝でした。

ある日、いくらのぞいても外が見えません。穴が詰まるはずありませんが、あきらめて遠ざかると、キラリ、と光を通すのです。近寄ると、やはり見えません。

「なんや！」。よくよく見たら、なんとチンパンジー

プレゼントコーナー

PHP研究所より
「とべ！ヒヨドリのピーコ」を
5名様にプレゼント

大好評の動物たちとの心あたたまる交流を絵本につづった「亀井一成のどうぶつえん日記シリーズ」の第4刊がついに発売！動物園にもちこまれたヒヨドリのヒナ、ピーコ。育てているうちになんと親子のほのぼの物語です。

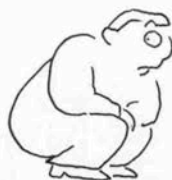
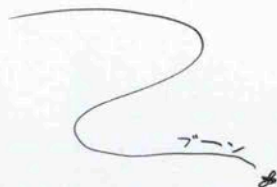


(PHP刊・定価1200円/文と写真：亀井一成 絵：福田岩緒)

●お申し込みはおガキでどうぞ。

〒650 神戸市中央区下山手通3-1-18-401
「月刊神戸っ子・ズーム IN ZOO」プレゼント係

やったな
透明スプレーの完成じゃ

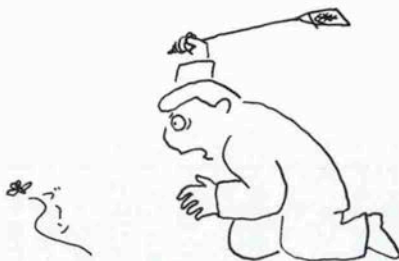


1



2

ハエが ハエタキに
気づくのじゃろう



3

こいつをためしてみよう



4

これならハエも気づくまい



5

やった!



6



7

ハエタキはどこです?



8

神戸を福祉の街に

〈267〉



橋本 明

（社団法人家庭薬師
促進協会事務局長）



「人間が住んでいることを忘れないでほしい」
西神第七仮設住宅の訪問から

六月の中旬の土曜日、久しぶりに「週末ボランティア」のグループに参加して西神第七仮設住宅を訪れた。この日、地下鉄西神中央駅に集まったボランティアは51人。遠くは沖縄、東京、名古屋から参加した若いボランティアもいた。最高齢は90才の男性で、昨年の秋からもう20回も参加しているという。仮設住宅に着くと、三人が一組になり順番に被災者を一軒一軒訪ねて歩く。ボランティアは、被災者の安否の確認や健康状態をチェックし、要望があればメモを取る。また、福祉電話の設置や「ケアライン一九」の案内、ホームヘルパーやコープの共同購入の

お知らせ、建物や設備の故障についての相談など、暮らしに関するいろいろな情報も提供する。被災者にとって、一番の心配事はやはり仮設を出たあとの生活のこと。低家賃の公営住宅に入居できるかどうか何より気になる。この日は一二七軒を訪ねたが、そのうちの四分の一近くの三〇軒は転居して空室になっていた。仮設住宅を出ていける被災者は何らかの見通しがあるのだろうか、出ていくことができない人たちはそれなりの事情を背負っている。「週末ボランティア」グループの代表者である東條健司さんからこの日頂戴した「神戸市西区仮設住宅者の声」という資料集には、アンケート用紙に書き込まれた被災者の苦しみや悲しみ、不安と絶望、怒りやいらだちなど

の声がちぎしりと詰まっている。「現在の身体はストレスがたまり、毎日夜になるとまったく寝れない状



地下鉄西神中央駅に集まり、訪問前のオリエンテーションを受ける



ボランティアに報告をする「週末ボランティア」代表の東條健司さん

態です。誰とも会いたくないし話もしたくない毎日です。ちょっとでも音がするとびっくりします。昼もカーテンをしめ電気もつけずにただ横になっているだけです」

「当仮設に来てから急に体が悪くなりました。一日も早く安心して住める家をお願いいたします。今日一日



三人が一緒に仮設住宅を訪問

は無事に生きられましたが・・・。ぜひひび公営住宅をお願いいたします。私は、本年84才です。妻が81才です。安心して生きられるところにやってください」

「年老いても最後の最後まで人間らしい生活が欲しいものです。家畜のようにどこかに詰め込まれ、ただ生きていくだけの生活は望みません」
「冬場のすきま風のひどさ、夏場の焼くつような暑さ、人間が住んでいることを忘れないでほしいのです。政府は被災した国民を救済することが最大の急務のほうです。政府の人間としての良識をよみがえらせてほしいのです」

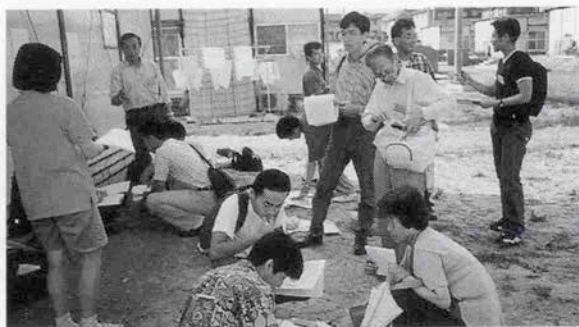
一方、ボランティアへの期待の声もかなりある。

「ここにボランティアが来るのを、みんな待っていたのです。みんな、それぞれ言いたいことを抱えていました。話ができて、すっきりしました」
「神経がまいっているので話し相手になるボランティアがほしいです」

「近くの棟の人が睡眠薬を飲んで自殺しました。その人のことを考えると眠れませんでした。ボランティアの人が来てくれると気持ちが明るくなるし、とても心強いです。みんな話し込んでしまうのは、誰もが、誰かに話したいことを持っているからです。私もこうして話してすっきりしました。本当に来てくれてよかったです」

たまに訪れる訪問ボランティアができることは、ごく限られている。そのなかで大事な役割の一つは、被災者と顔をあわせ、同じ目線でじっくりと被災者の声に耳を傾けることだろう。「自分たちの存在が忘れられていない、誰か自分のことを気にかけてくれている人がいる」というメッセージを届けることは、困難な状況にいる被災者に幾分かの励ましを与えることになるだろう。この日の活動が終わった後で、今朝4時に起きて名古屋から参加したという青年は「こういう人間がここにいて、仮設に住む一人の被災者から言われたことが、すごく頭にこびりついて

いる、と訪問の感想を語っている。兵庫県社会保険推進協議会の調査によると昨年三月から今年の六月末までの被災者の孤独死は七十四人で、その半数以上が仮設で亡くなっている。男性の死者は女性の約二倍で、



訪問の途中で集まって情報交換をするボランティア

五十才〜六十才代の壮年層が半数を越えているのが目立つ。震災から一年半が経つというのに、被災者の苦悩は深まるばかりだ。仮設住宅の訪問から帰る時はいつも重い気持ちばかりが、残ってしまう。今回も被災者の一人から「がんばってくださいね」と、逆に励まされたことが一層、心を重くした。



Welcome to Arima

湯の街

有馬歳時記

湯けむり見聞録

訪ねる人：斉藤亜紀

有馬の女将訪問シリーズ(Ⅶ)

欽山

日本の文化を継承する旅館

女将・小山裕子さん

「車の渋滞で遅れてしまつて……」。長年のお客様、西脇良一様、孝子様ご夫妻がロビーに姿を見せた途端、女将・小山

「お客様とお出合いは、私の心の財産です」と語る女将・小山裕子さん。和服姿が「日本文化をもつ女性」を彷彿させる

「ここに来るとほつとします。一人一人を心から大切にしてくれているのが分かりますから緊張がほぐれるんですね」ご夫妻が到着されるまでの間に女将にインタビューをした時の言葉が脳裏によみがえつてきた。「私たちには旅館の仕事は毎日のことですから、お客様にとっては日常を離れたひとときなんです。ですから常に『ああ、来てよかったな』と思つていただけるよう、明るい笑顔で出来る限りのおもてなしをさせていただきたいと思つています」。



欽山のピアノバーとラウンジのコースターとマッチは西脇様ご夫妻のアメリカ在住のご子息、健一さんがデザイン。洗練された感性が光る。他にペーパーバッグや包装紙なども

テニスでいい汗
いい湯にとっぷり味に集う

ARIMA

SUNNY SIDE UP
TENNIS CLUB

TEL (078) 903-1024



橘 有馬
所 材

TEL (078) 904-0551

静寂さにつつまれた
くつろぎの宿

国際観光旅館

リョウ 楓閣

TEL (078) 904-0675
TELEX 5627-115

有馬での会食・宴会は懐石料理・ステーキが楽しめるいろり亭「華盛」で!!
(昼5000円～、夜8000円～)

有馬温泉 政府登録国際観光旅館
銀水荘別館

北楽

TEL (078) 904-3656(代)

自然の恵みを
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

古泉閣

TEL (078) 904-0731



前列左よりお客様の西脇良一様〈阪神銀行取締役相談役〉と奥様の孝子様。後列左より女将の小山裕子さんとご令嬢の曉子さん（釜山ロビーで）

真のサービス、心配りとは眼に見えないところにこそある、と言う。例えば、小山さんは毎日従業員の顔色をチェックする。おや、と思ったときは「何か気になることがあるの」と尋ねてみるそうだ。「顔を見ると安心するんですね。毎日の仕事が好きになれば笑顔も曇ってきませんもの」。玄関に足をふみ入れた瞬間から、私は女の子たちの顔の明るさ、ほがらかさに驚いていたのだが、女将の話聞いて納得した。「専業主婦を卒業して旅館の仕事をはじめた私もまだまだ一期生。だから「みんなで頑張ろうね」と励ましあっているんです（笑）」。

はじめて欽山を訪れたときから日本旅館のもつ落ち着きと安心感を感じたという西脇様。「最初から不思議にすつと馴染めました。仕事柄、続けて次の日も利用することがありますが、決して手を抜

かずに心配りをしてくれるのがうれしい」。奥様の孝子様も時にご友人と共に欽山を訪れるそうだ。「明るくて品の良い雰囲気、初めてご一緒した方がとても喜んでくださるんです。ですから安心してご紹介できるんですね」。

部屋でゆっくりくつろぎながら料理を味わえるのも魅力だと孝子様はいう。

「熱いものは熱いうちに、と常に一番美味しい状態でお料理をいただけるのがうれしい。日本人ですからだんだん和食が好ましくなってきました。今日はどんな素材をどんな風にお料理してくださいかな、と毎回楽しみにしています」。

日本の伝統を受け継いでいるのは現在の旅館だけではないかという女将の言葉に、私は改めて日本の文化の奥ゆかしさに触れた気がした。「サービスというのはそもそも一般家庭に通じるものだと思います。お客様が家にいらつしやる時には、きれいに掃除をし、着物を着て、心を込めた手づくりのお料理をお出しする。今の日本社会はそんな心配りというものを忘れてしまっているのではないのでしょうか」。

西洋化された便利な生活に馴れていくうちに、私たちは大切な「心」まで失っていつているのかもしれない。

●神戸市北区有馬町1302・4
電話・078・904・0701
●チェックイン・午後一時／チェックアウト・午後十二時

日本の伝統
数寄屋造りの館



欽山

TEL (078) 904-0701

チェックイン13:00、アウト12:00
ゆっくりとお過ごしいただけます。

雅たようくつろぎの館

中の坊珠苑

TEL (078) 904-0781

会議セミナーからご家族づれまで

有馬グランドホテル

TEL (078) 904-0181

露天風呂とご昼食

ひさご弁当

兵衛
向陽閣

TEL (078) 904-0501(代)



有馬温泉月光園

湯麿館

KOROKAN
TEL (078) 903-2255

姉妹旅館 湯月の荘

TEL (078) 904-0366

大自然と一体化して

美術評論家 伊藤 誠(文・写真)

これからの美術館の往くべき方向として、現在二つのことが言われている。一つは都心部における「総合的」な美術館(例えばバリ・ポンピドゥー芸術文化センター)。利便性などの面でその効果は実に大きい。この場合、既存美術館の活用という点からコンビナート方式も工夫され始めている。すなわち

近くにある複数の美術館(あるいは博物館)同士が手を組んで全体として総合的な内容を目ざすわけだ。(例えばワシントンD・Cの Smithsonian 博物館群)。当然、周辺に新たに造られる施設はその意図を充分考慮して発足する必要がある。もう一つは大自然の一角を占め、あたりへ融けこむように配置される美術館である。

た著名な画家たちの作品、そして現代美術へも大いに力を入れている。(日本の前衛書道の作品もあった。)

ここへは、最初急な仕事からんで半ばあわてて出かけたのだが、そのせいで余り予備知識なく(ゴッホに関しては知っていた)、日本発行の旅行案内書だけが頼りの旅で、実は散々失敗した。これはすでに別の所で文章にしたので詳細は省くが、その一部を転記してみる。(1976年のこと)

◇

(鉄道で、この地方の中心地アペルドーンへ着いた後、バスに乗り換え)揺られること一時間弱で、ようやく目的地のオッテルローへ。しかし、バスを降りると道の両側に人家が飛び飛びに並んでいるだけ。停留所も標柱一本きりの簡単なもの。もちろん美術館らしい建物など見当たらない。降りたのは当方の一人きり。町並みに二、三見受ける商店も、日曜のため休みの人の気配の全くない昼下がりの田



館内から外の自然林を観る

舎街道。しばらく立っていると、若夫婦らしい二人づれが二台の自転車ですら来て来た。美術館をたずねる。十五分ほどだから後ろへ乗っていき、と男の方が親切に誘ってくれた。が、なんのそれくらいならと歩くことにする。

五分ほど歩くと、大きな門構え。ここが入り口だな、本館の建物も近かる。料金を払って入る。ところが、それから遠かった。行けども行けども、道と木立のみ。歩行者はずうと小生一人。時々ビュルンと車が駆け抜けていく。サイクリングのグループとも出会ったが……。道を間違えたのかな。

目的の美術館へたどりついたのは、門を歩いて約四十分後。汗ダクダク。館の前の駐車場、自転車置き場にはそれぞれ車がいっぱい。館周辺には人影もかなり。なるほど、十五分は自転車での話か。美術館はものすごく広い有料国立公園の真ん中に位置していたのだ。(ああ、思えばあの入り口は公園のそれだったのか。)そういえば、途中「野性の鹿に注意」なんて標識もあったな。何と何と……。

(略)面白かったのは彫刻の大野外展示。広いスペースをうまく使い、野つ原や丘の活用はもちろん、池の中へも動く作品などを配して、自然との一体化を図っている。迷



クレラ・ミュラー美術館建物の入り口あたり

路遊びのような前衛大作も巧妙に仕づらえてあった。およそ三時間ほどをかけ、館内外を一巡しての感激は大きかった。そして街なかで窮屈そうに構えている日本の美術館しかミュージアムとして考えられなかった当方の頭が、何ともおかしかったことである。



振り返れば、失敗も今では楽しい思い出である。さて、この国立公園はオランダ国内最大のもので、面積は日本の八丈島に匹敵するという。元々は富豪のアントン・クレラ氏の所有地で、個人の狩猟地

区であった。一方、ヘレーネ・ミュラー夫人は美術に関心深く、美術批評家の指導の下に美術品収集をしていた。かなり集まった時点で、この土地に美術館を造り、夫婦の趣味(狩猟と美術鑑賞)の一本化というだけでなく、一般にも解放し、緑豊かな自然と芸術とを心ゆくまで楽しんでもらおうと計画していたのである。それが不況のため実現しにくくなり、美術館建設を条件に土地と美術コレクションのすべてを国に寄贈した。作品は三百点弱のゴッホを中心に計数千点。開館は1938年。翌年、初代館長を勤めた夫人が亡くなり、クレラ氏も悲しみのうちに夫人のあとを追うようにして間もなくこの世を去った。国は夫妻の意志を尊重し、61年には中庭に彫刻公園を造り(作品設置数約七十、71年には建物を増築、動きの激しい現代美術の陳列にも熱心だ(再訪の際確認)。そして、広い公園内には、狩猟、魚釣り、キャンプ、サイクリング等、自然と親しむ施設が次々と整えられていった。芸術から受ける感銘。自然と一体化する喜び。両々相俟って、出来得ればだれもが味わいたいと考えている、人間にとつての幸せなモノ——が、この美術館にはしつかと存在していると思えたことだった。

もだかるプレゼント特集

残暑お見舞い申し上げます。
今月の「もだかる」はチケットプレゼント特集。劇場で体を涼しく心を熱くして、暑い夏を乗り切ろう。劇場によって紹介した作品以外にも有効なので、奮って応募してください。宛先は次ページを参照。「こんな作品を取り上げてほしい」「編集者のコメントにセンスがない」など、当欄「もだかる」へのお便りもお待ちしております。



演劇

★鶴岡大歩プロデュース第2回演劇作品「ソの次の音」

8/31(土) 16:00 / 19:00
9/1(日) 16:00
シアター・ボシエット

TEL078・242・3959
前売2000円 当日1800円

「ソの次の音」とは？ ラ？
そんな大げな、ママが許しませんからね！

ニューヨーク大学演劇文学
科卒業後、演出家やプロデ
ューサーとして活動している鶴
岡大歩が、「言葉を持って」帰



「ソの次の音」パンフレット原画・中井浩史

神。ニューヨークで制作、演
出したサミュエル・ベケット
作品にひきつづき、第2回ブ
ロデュース演劇作品（オリジ
ナル脚本）を神戸で発表する。
震災を悲劇と思ったひと、
喜劇と思ったひとは、「ソの次
の音」を聴いてみよう。



美術

★海文堂ギャラリー

TEL078・331・2467
無料

8/17(土) 23(金)
花房宛昇展

8/24(土) 30(金)
常設展

8/31(土) 9/9(月)
西村功展

9/10(火) 20(金)
川島猛展



神戸100年映画祭

映画は再び神戸から始まる。11月1日から12月1日まで、「神戸100年映画祭」が開かれる。エジソン発明のキネトスコープが神戸に日本初上陸して100年を記念、震災からの「人間復興」がテーマとなる。内外の著名な映画人も多く来神し、「ヒューマニズム映画祭」「アジアフィルムフェア」「淀川長治セレクション20」「国際リレートーク」の4つの部門で作品が上映されるほか、さまざまな関連



アンジェイ・ワイダ監督

続報を待て！
問い合わせ先は、
神戸100年映画祭実行委員会
事務局(TEL
078・23
2・3281)。



「瀬戸内ムーンライトセレナーデ」

イベントが用意されている。
海外からのゲストには、「灰とダイヤモンド」のアンジェイ・ワイダ監督、「さらば、わが愛―覇王別姫」の陳凱歌監督などが確定しており、他にもかなりの大物と交渉中。国内では、篠田正浩監督と女優の岩下志麻

もだかるチケットプレゼント



映画

★「グラン・ブルー」グレイト・ブルー完全版」

8/20(火) 9/2(月)
バルシネマしんこうえん
TEL 078・575・7879
一般1100円 学生900円



リュック・ベソン監督
「グラン・ブルー」

★「アンダーグラウンド」

8/31(土) 9/13(金)
アサヒシネマ3
TEL 078・251・9877



エミール・クストリッツァ監督
「アンダーグラウンド」

★「ACRI (アクリン)」

8/31(土) 9/27(金)
シネサイク4
TEL 078・360・0700



「カミラ」主演の
ジェシカ・タンディ

★「カミラ」あなたといた夏」

9/13(金) 14(土)
神戸朝日ホール
TEL 078・331・8538
(神戸映画サークル協議会)
前売1300円 当日1500円



岩井俊二原作「ACRI」

★シアター・ポシエット

(8/31・9/1)「フの次の音」上演中有効3名
★バルシネマしんこうえん
(8月中有効) 5名
(9月中有効) 5名

▽8/6・19「ダイ・ハード3」「デスペラード」▽8/20・9/2「グラン・ブルー」▽9/3・12「あなたが寝る間に」「Shall we ダンス?」▽9/13・23「セブン」シネマ

★西瀬劇場/西瀬シネマ

(9月末まで有効) 5組10名
▽8/10・9/1「アンパンマン」他1本
(入替)「釣りバカ日誌8」「さすらいのトラブルバスター」▽9/2「釣りバカ」さすらいのみ「シネマ」は成人映画

★アサヒシネマ1・3

(9月末まで有効) 3組6名
1▽8/3「イル・ポストエノ」▽次回

「ナッティ・プロフェッサー」

2▽8/10・30「フリッパー」▽8/31・9/13「キッズ」

3▽8/3・16「スモーク」(入替)「ブルー・イン・ザ・フェイス」▽8/17・30「天使の涙」▽8/31・9/13「アンダーグラウンド」▽9/14・27「ジェイン・エア」

★神戸朝日ホール

(9/13・14「カミラ」上映中有効) 3組6名
★シネマサイク1・4
(9月末まで有効) 1組2名

1▽上映中「ミッシェン・インボツシブル」▽次回「ザ・ファン」

2▽上映中「ツイスター」▽次回「ザ・ロック」3▽8/30「学校の金銭2」▽8/31・9/27「アクリ」▽9/28「居酒屋ゆうれい2」4▽8/23「ガメラ2」▽8/24「ノートルダムの鐘」

★カナート・ホール

絵本原画展 -長 新太の魅力-

8月14日(水)~9月1日(日) 6階神戸阪急ミュージアム

開館時間: 11時~7時30分(最終日は6時)

閉館: 閉館30分前までにご入館ください

休館日: 8月19日(月)・20日(火)

入館料: 一般 600円(400円)

(税込み) 大学・高校生400円(200円)

中学生以下、65歳以上無料

(証明書をご提示ください)

()内は前売り及び団体10名様以上の料金。

主催: 神戸阪急ミュージアム・神戸新聞社

神戸阪急8月のお休みは

6日(火)・19日(月)・20日(火)

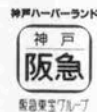
営業時間 連日11時~7時30分

●次回はファンタジックワールド~やなせ

たかしと12人の作家たち

です。

※8月14日(水)~17日(土)



(9月中有効) 5組10名
▽8/23「学校の怪談2」▽8/24・8/30「アンパンマン」他1本(入替)「学校の怪談2」▽8/31・9/11「アンパンマン」他1本(入替)「午後の遺言状」

★バレーシネマ

(9月中有効) 5組10名

▽9/6「ガメラ2」▽9/7・20「陽のあたる教室」▽9/21・10/11「宮澤賢治とその愛」

●希望する館名と、住所・氏名・年齢・電話番号を明記して左記まで。この欄の感想や、最近よかった映画・演劇・展覧会なども教えてください。

〒650 神戸市中央区下山手通3・1・18
ツインスタービル4F 「月刊神戸」子8月号
もだかるプレゼント係(笑)



わが新開地の思い出がよみがえる
アザラシの島の小さな灯

「フィオナの海」

アメリカのジョン・セイルズ監督（ことし四十六才）が自分で監督・脚本・編集した独立プロダクションの一时间四十三分（カラー）の「フィオナの海」（一九九四年作）がやっと大映洋画部の手で入荷した。この監督は「ブラザー・フロム・アナザー・ブラネット」（八四）「希望の街」（九二）のほかは何を作ったか覚えていない。それまでは一流監督としてこの監督の名をおぼえていた。

ところが彼の二年近く前の「フィオナの海」がとびこんできた。見てびっくりした。ちかごろのアメリカ映画はいかにもカネトリムシになっていて見た目のスリル、アクション、何とかグラフィックと呼ぶ超大トリックで客を呼ぶ。ハートに灯をつけてくれない。がつくりだ。

このときにジョン・セイルズというあまり気にもしなかった監督の「フィオナの海」を見てアメリカにもこのような映画を作る監督のいたこととても安心した。この映画はまるでニューヨークの近代美術館の映画上映室でみるような「静かな」映画であった。カラーなのにモノクロか、どちらだったか？ そう思わせるような静かな映画だった。

☆

一九四〇年の夏の終わりにフィオナという少女がアイ



フィオナ…海の詩をうたう少女

ランド北西部の祖父母の家にひとり訪ねてゆくところから始まる。船の上から海を見ている少女を波のうねりからひよこりと首をあげてアザラシが見つめていた。

祖父母と従兄弟のイーモンが暖かく彼女を迎えてくれた。その家の窓から、ローン・イニッシュと呼ばれる小さな島が見える。実はフィオナの一家はかつてそこに祖父母といっしょに住んでいたのだが、母を病気で失ってからこの島を離れたのであった。その引っこしの最中に赤ん坊のジェミー、それはフィオナの弟。そのジェミーを小さなワラであんだゆりかごに入れて小さな木のゆり箱のまま、母がそれを安心して海の波のとどこかぬところ

に置いていたところ、いつのまにか波がそのゆりかごをさらっていつて遠くへ遠くへゆりかごは波のうえにゆられたまま行ってしまう、今もそれっきりなのだ。その弟の名はジェミー。島の人はア



名カメラマンが海の伝説を静かに描く

ザラシがつれていったのにちがいないと言った。

フィオナはローン・イニッシュに今もジェミーは生きていると島の男にささやかれ、祖父母からも、あのローン・イニッシュの人のいない島に夜になると灯が見えることがあるとフィオナは教えられ、フィオナはほんとうに窓から、ある晩、そのような小さな小さな青い光を見たのだった。そしてとうとう祖母と従兄弟のイーモンの舟でこの島に行った。荒れはてたような島だったか、ひとの足あとのようなのを見た。それにもっと驚いたことには岩のくぼみの雨をよけたような砂地にたぎぎのあとを見て、その残り火がまだ消えきつていなかったところから、ここに小さなジェミーがまだ生きていてアザラシと住んでいると思ったのだった。しかもフィオナは裸体の五才ぐらいの男の子が岩かげに走って逃げたのを瞬間に見てかけつけてあとを追ったが、もうなんのひとも見あたらなかった。このローン・イニッシュをひとは「アザラシの島」そう呼んだ。またつくそのとおりの島だった。

けれどフィオナは海の青年からセルキーと結婚した男の話を聞いた。その男はフィオナの血筋の男で「海と地上のあいだに生きている男」と呼ばれ、海の魚を船べりから手を海にさしこんで手づかみで掴む男だそうだった。セルキーと

は「アザラシの妖精で、この「フィオナの海」でもそのシーンが出てくるのだった。岩に這いあがった一頭のアザラシがそのからだの皮をぬいで美しい女となった。それをひそかに見たひとりの男が、そのアザラシの女と結婚しその女は人間の子をもうけた。そして海の中に手をつつこんで魚を掴む男もアザラシの血のまじった男とも思えるし、だいたいフィオナの弟、その小さな赤ん坊のジェミーをゆりかごのままさらったのも実はアザラシの、アザラシの血を受けた人間を恋う、その愛からかもしれない。

☆

フィオナはローン・イニッシュに家を建てて住む決心をした。この映画は童話でもあり、海の詩でもあり、アザラシ島のアイルランドの伝説でもあるのだが、この古い香りの海の波を思わせるこの映画、実はこれと同じものを私は今から七十七年もまえに神戸の新聞地の錦座で見たおぼえがある。それはモオリス・ターナー監督（一九一八）アメリカ映画「ウーマン」だった。オムニバスで（エデン）（ローマ）（フランス）（イギリス）（アメリカ）の五篇にわかれ、その（イギリス）の篇がアイルランドのアザラシ島の伝説映画だった。

それは大正八年（一九一九）十一月末、私はそのサイレント映画の始まりの弁士が一言、声たかく呼んだ「そもおんなとは、いかなるものだ」。そのコトバからこのオムニバスのアイルランド篇を今も美しく悲しくサイレントの美しい映画とともに、はつきりと思ひだし、私が映画と一生を暮らしたいと願ったのもこの映画からだった。

「フィオナの海」の出演者はすべて無名の人たちばかりであった。しかしカメラだけ、これがハスケル・ウエクスラー。「ヴァージニア・ウルフなんかこわくない」「カッコーの巣の上で」の名カメラマンである。この映画はまさに（目）で語った映画の海の唄だった。

残暑お見舞い申し上げます。

平成八年
夏



PHOTO／米田英男

神戸まつりメインフェスティバル（平成8年7月ハーバーランドで）

<p>専正池坊家元 日本孔道 小笠原流煎茶宗家</p> <p>諸 泉 祐 陽</p> <p>残響お見舞い申し上げます</p> <p>神戸市東灘区住吉山手3-2-21 TEL 078-811-1601 FAX 078-811-3106</p>	<p>丹波焼延年窯</p> <p>市 野 弘 之</p> <p>多紀郡今田町上立杭4 4 9-1 TEL 0795-97-2212</p>	<p>がれりや馬亜乃 木彫・染色教室</p> <p>木彫 村上喜平 染色 白石弘子</p> <p>仕事の仕事と呼び、 仕事できる幸せを感じています</p> <p>神戸市中央区北野町4-9-6-21 TEL/FAX 078-242-5005</p>	<p>ソプラノ</p> <p>三木麻差子</p> <p>日本歌曲の夕べを開きます。 9月27日(金)19時~かんしんホール</p> <p>神戸市東灘区御影塚町2-2-12 TEL/FAX 078-851-8459</p>
<p>大 和 楽</p> <p>理事長 大和 三千世</p> <p>11月7日(木)14時より神戸市立博物館 邦楽サロンで公演「大和楽」</p> <p>神戸市中央区中山手通7-1-15 TEL 078-341-3653</p>	<p>財団法人 小原 流</p> <p>理事長 小原 規容子</p> <p>神戸市中央区東川崎町1-7-4 ハーバーランドダイヤニッセイビル8F TEL 078-360-0871 FAX 078-366-2165</p>	<p>第2 仏光保育園</p> <p>園長 堀 尚勝</p> <p>園児さんの健やかな成長を 願って頑張っています。</p> <p>兵庫県揖保郡揖保川町二塚385-1 TEL/FAX 0791-72-4630</p>	<p>植草貞夫事務所</p> <p>代表 植草貞夫</p> <p>ブライダル司会、講演、 イベントとスタッフ一同がんばっています</p> <p>大阪市北区大淀南2丁目ホテルプラザ1120号 TEL/FAX 06-454-0039</p>
<p>若由会</p> <p>代表 若 柳 吉由二</p> <p>12月1日愛する神戸の為にチャリ ティ公演・於国際ハーバーランド</p> <p>神戸市垂水区平磯4-2-3 TEL 078-706-0113 FAX 078-707-2765</p>	<p>神戸焼・すえひろ 末汎窯</p> <p>南 汎</p> <p>神戸市西区神出町広谷623 TEL 078-965-2244</p>	<p>(株)兵庫県映画センター</p> <p>代表取締役 岡本好和</p> <p>神戸100年映画祭・ 淀川長治セレクション20にご期待ください</p> <p>神戸市中央区北長狭通4-3-13私学会館9号 TEL 078-331-6100 FAX 078-331-6158</p>	<p>大蔵流狂言 善竹会</p> <p>善竹忠一郎</p> <p>来正月12日震災復興祈願善竹会 神戸狂言会開催。釣狐上演します</p> <p>神戸市東灘区住吉台5-1-1014 TEL/FAX 078-822-3948</p>
<p>知香流</p> <p>家元 成瀬 香梅</p> <p><仮設教室> 神戸市灘区深田町4-1メイン六甲33-202 TEL 078-851-3305</p> <p><住まい> 神戸市灘区篠原伯野山町1-1-3 六甲グランドビル211 TEL 078-882-0085</p>	<p>貞松・浜田バレエ団</p> <p>代表 貞松 融</p> <p>「ジゼル」初公演 10月9日・10日フルオケ付 ロマンティックバレエの最高峰 全幕公演！乞うご期待！！</p> <p>神戸市灘区畑原通3-6-6 TEL 078-861-2609 FAX 078-801-0308</p>	<p>音水湖畔 和弘美術館 フランス料理「アルカンシェル」</p> <p>館長 安好 匠 シェフ 中後 寛</p> <p>「兵庫の作家展」9月23日迄開催中(月曜休館)</p> <p>穴栗郡波賀町引原ダム畔 TEL 0790-73-0111 FAX 0790-73-0113</p>	<p>創作書画・汀会</p> <p>主宰 四井汀花</p> <p>読めて味わい深い書を。可愛い画を添えたり、 その他書写検定・漢字検定も</p> <p><教室>元町文化学院…078-735-2026 北野坂文化教室…078-322-0668 <自宅>神戸市北区泉台3-17-8 TEL 078-593-8084</p>
<p>関西日印文化協会 神戸ユネスコ協会 日本ネパール文化友好協会</p> <p>会長 桑原 泰業</p> <p>神戸市北区鈴蘭台東町9-7-26 TEL & FAX 078-591-5633</p>	<p>関西和装学院</p> <p>学院長 原 仁美</p> <p>夏の日の涼風に きもの姿が 美しい あなたも わたしも</p> <p>神戸市須磨区神昌寺町1-11-1 TEL 078-732-0693 FAX 078-736-3535</p>	<p>神戸ニュー・ウェーブ・シアター委員会</p> <p>会長 田中雅男 常任委員長 松尾忠雄</p> <p>8月31日からアートビレッジで 時代の先端を歩く若手劇団の公演</p> <p>明石市魚住町鴨池1-17 TEL/FAX 078-947-9652</p>	<p>神戸マリンバソサエティ</p> <p>代表 宮本慶子</p> <p>10月11日PM7時より松方ホールにて コンサートを開催いたします</p> <p>神戸市灘区曾和町2-4-7 TEL/FAX 078-821-6838</p>

残暑お見舞い申し上げます。

平成八年
夏



PHOTO／米田英男

神戸まつりサンセットパレード（平成8年7月ハーバーランドで）

<p>若柳 吉金吾</p> <p>9月29(日)午後3時より第10回リサイクル 神戸文化大ホールで</p> <p>神戸市中央区楠町5-1-7 TEL 078-341-6832 FAX 078-341-6888</p>	<p>兵庫県いけばな協会</p> <p>会長 吉田 泰巳</p> <p>神戸市中央区下山手通5-10-1 兵庫県生活文化部芸術文化課内 TEL 078-341-7711 内線2851</p>	<p>神戸ネオトロピカル協会</p> <p>会長 森 美代子 代表幹事 藤本ハルミ</p> <p>10月5日新神戸オリエンタルホテルで 秋の大夜会を開催します。</p> <p>神戸市中央区山本通2-2-7 TEL 078-242-5690 FAX 078-222-5875</p>	<p>つくりばなびと 創花人 ミモザグループ主宰</p> <p>佐藤悦枝</p> <p>残暑お見舞い申し上げます。</p> <p>神戸市中央区下山手通5-8-14-703 TEL&FAX 078-341-5605</p>
<p>女流義太夫</p> <p>神代初美</p> <p>神戸市兵庫区新開地4-3-1-301 TEL 078-371-0265</p>	<p>地唄舞</p> <p>大和松蒔</p> <p>地の神に捧げる地唄舞を懸命に 努めさせていただきます。</p> <p>明石市朝霧山手町2-2-7 TEL 078-911-9513</p>	<p>ギャラリー&珈琲サロン 兜子館</p> <p>プチコンサート・パーティ企画 館長 赤尾 徳也</p> <p>残暑お見舞い申し上げます。</p> <p>神戸市東灘区御影山手1-13-4 TEL&FAX 078-811-0760</p>	<p>花柳 五三輔</p> <p>神戸市長田区西山町4-7-11 TEL&FAX 078-621-3209 〈教室〉078-576-7725</p>
<p>米田フォト YONEDA PHOTO</p> <p>米田 定蔵 米田 英男 森田 篤志</p> <p>神戸市長田区池田寺町11-10 TEL 078-691-3547 FAX 078-641-0289</p>	<p>社団法人 能楽協会</p> <p>理事・神戸支部長 吉井 順一</p> <p>神戸の文化のますますの 発展を心より願っております。</p> <p>西宮市甲子園砂田町5-3 TEL&FAX 0798-47-7651</p>	<p>二科会写真部兵庫支部長 全日本写真連盟関西本部委員長</p> <p>緒方 しげを</p> <p>神戸市中央区中町通3-1-17 TEL 078-341-3711 FAX 078-341-4019</p>	<p>山田流 箏曲 小倉 美紗能</p> <p>着実に舞台も学校も復興めざして励み、 東京へも従来通り度々出演させて いただいております</p> <p>神戸市灘区畑原通5-3-15 TEL 078-861-6091</p>
<p>女人舞楽 原笙会</p> <p>会長 原 笙子</p> <p>こころの栄養・女人舞楽</p> <p>芦屋市楠町14-20-210 TEL 0797-31-5530 FAX 0797-38-5999</p>	<p>一東書道会</p> <p>会長 井茂 圭洞</p> <p>神戸市兵庫区水本通4-1-19 TEL 078-577-1001 FAX 078-577-8567</p>	<p>みやび流押絵 家元二代目</p> <p>小西 絹甫</p> <p>見た目は涼しく、心は熱く。 夏の間の創作モードです</p> <p>芦屋市公光町3-15 TEL&FAX 0797-34-1001 (夜間)0797-32-5634</p>	<p>世良美術館</p> <p>代表取締役 世良 臣絵</p> <p>神戸市東灘区御影町城ノ前1476 TEL 078-822-6456 FAX 078-843-4834</p>
<p>日本舞踊 花柳流</p> <p>花柳 小三郎</p> <p>神戸市灘区箕岡通4-2-5 TEL 078-802-0030</p>	<p>須磨琴保存会</p> <p>小池 美代子 三浦 徳子 山崎 八重子</p> <p>8月17日ホテルブーフルリッツで 演奏会開催。どうぞよろしく</p> <p>神戸市須磨区須磨寺町4-6-8 TEL 078-731-0416 FAX 078-731-6859</p>	<p>声楽家 女声アンサンブル エコ・エレガント代表 女声合唱団</p> <p>有川 隆子</p> <p>11/12(火)2:00PM-アルカイックホール・ミニ五 期の間にて女声合唱団エコ・エレガントコンサート 「歌を3倍楽しくする法」を開催いたします</p> <p>神戸市灘区青谷町4-1-11 TEL&FAX 078-861-8766</p>	<p>神戸100年映画祭</p> <p>実行委員会事務局</p> <p>11月に100年映画祭開催！ 映画は再び神戸からはじまる。</p> <p>神戸市中央区雲井通5-3-1サンバル7F TEL 078-232-3281 FAX 078-232-3292</p>